

## 第 20 期業績のご報告

(平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)

平成 28 年 9 月 吉日  
日本システムバンク株式会社  
代表取締役社長 野坂 信嘉

当事業年度のわが国経済は、企業収益の改善による設備投資の持ち直しや雇用・所得環境の改善等、穏やかな回復基調が続きました。しかしながら、不安定な国際情勢や中国経済の更なる減速、資源価格の低迷による新興国の景気後退など、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような状況の中、駐車場業界におきましては、都市部を中心としたマンション・戸建て住宅建築増加の波を受け、一部の駐車場で解約の影響を受けることとなりましたが、慢性的な駐車場不足及びガソリン価格の下落に伴う道路交通量の増加を背景に駐車場の利用は増加傾向となりました。

このような環境のもと、当社は主力事業であるコインパーキング事業において、積極的な新規駐車場の開発と、駐車場機器の販売及びメンテナンスに注力致しました。また、顧客基盤の拡大に向け、新たに広島支店を開設致しました。

以上の結果、売上高は6,088,466千円(前期比106.7%)、営業利益は295,675千円(前期比140.5%)、経常利益は233,311千円(前期比177.5%)、当期純利益は119,298千円(前期比427.7%)となりました。

事業区分別の業績は以下の通りです。

### 【コインパーキング(以下CP)システム運営事業】

CPシステム運営事業においては、駐車場の新規開発及び駐車場の需給バランスを考慮した料金設定の最適化を継続的に実施し、駐車場の採算性の向上に努めて参りました。また、駐車場の付加価値向上を図るべく、高速インターネット回線の導入及び大手ポータルサイトとの提携によるネットマネーやクーポン等の導入に向け取り組んで参りました。その結果、売上高2,845,511千円(前期比105.0%)となりました。

### 【CPシステム販売管理事業】

機器販売事業におきましては、運営会社様の開発計画が増加傾向で継続したこと及び駐輪場のニーズの高まりを背景に業績は大幅に伸長致しました。また、メンテナンス売上におきましても、開発計画の増加の影響により堅調に推移しました。その結果、売上高2,993,821千円(前期比114.4%)となりました。

**【プロパティマネジメント事業】**

プロパティマネジメント事業におきましては、「満室経営」を目指し物件の稼働率向上に注力致しました。その結果、売上高248,388千円(前期比65.4%)となりました。

事業別の売上高は次の通りであります。

事業区別	売上高	前期売上高	前期比
CPシステム運営事業	2,845,511千円	2,707,715千円	105.1%
CPシステム販売管理事業	2,993,821千円	2,616,796千円	114.4%
プロパティマネジメント事業	248,388千円	379,311千円	65.4%
その他	744千円	180千円	412.2%
合計	6,088,466千円	5,704,003千円	106.7%